バイオマス丹波篠山新聞

第 10 号
令和７年
８月 20 日

ＮＰＯ法人
バイオマス丹波篠山
篠山市垣屋１５９－２

組手什（クデジュー）の商品陳列棚が全国展開

今、組手什で作られた商品陳列棚が全国に送られています。

自転車・バイク用錠前などを製造販売している今田町の株式会社ニッコー様が、提携する全国の自転車店に自社商品の陳列棚を店頭に置いてもらっておられます。

「商品の陳列棚を自然素材にしてアウトドアのイメージを強調しようと、NPO 法人・バイオマス丹波篠山が普及に取り組んでいる、地元の間伐材を使った木工キット「組手什」を採用。（中略）木製棚に並べて販売するスタイルが顧客の目を引き、購買につながっている」（丹波新聞一昨年 7/24 記事より引用）とのこと。すでに全国に数十台を設置。今後もさらに拡大される予定です。

ブランド化でイメージ一新

自転車・バイク用ロックなど製造

今田町の「ニッコー」17アイテム、巾着袋で販売

アウトドア・アパレルへ展開

新ブランド「TAMBAR」の商品を手にする大沼社長。後ろにあるのは「クデジュー」を使った陳列棚＝丹波篠山市今田町木津で

販売商品にロゴマークを入れ、イメージを一新した商品

昨年７月丹波新聞記事

組手什は、スギやヒノキの間伐材の有効利用として開発されたもので、等間隔に切り欠きのある２ｍの板材です（写真 1）。必要な長さにカットして互にはめこみ、オリジナルな木製品（写真 2, 3, 4 の棚など）を作ることができます。

組手什（クデジュー）の商品陳列棚で丹波篠山ブランドイメージの一新を！

写真 1

この板材で、購入された方が独自の陳列棚を考案し組み立てられるもよし。ご相談の上、当法人が製品にまで組み立てた陳列棚を購入していただくもよし。いずれの場合でも私どもスタッフがご相談をお受けし、ご提案やアドバイスもさせていただき、ご希望にお応えできるよう柔軟に対応させていただきます。

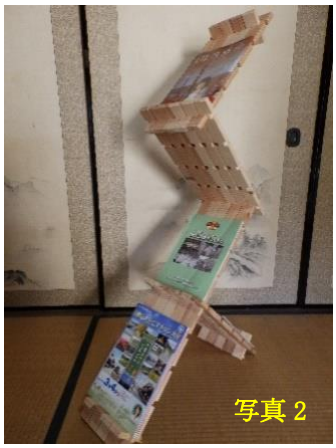

写真 2

写真 3

写真 4

お問い合せは　NPO 法人バイオマス丹波篠山
☎ 079-593-1150　FAX　079-593-1377
E-mail　info.bmtsasayama@gmail.com

丹波篠山産間伐材割箸のご利用 4万3千膳を突破

令和４年秋に製造を開始した間伐材割箸。兵庫県農林水産部林務課様からの応援もいただいて、たくさんご注文をいただき、今年５月には出荷が累計４万３千膳を越えました。

県独自デザイン袋割箸

一昨年からのお弁当屋さんへのご提供に続いて、県の種々のイベントに供するため県直々のご注文をいただいたり、萩原珈琲様直営店へご提供させていただいたりと、納品遅れを心配するほどでした。

県のイベントには 2/1(土)と 4/19(土),20(日)の「ひょうごの木」PR イベントがあり、NPO バイオマス丹波篠山も参加しました。2/1 は神戸市内磯上公園での『「ひょうごの木」と都市の交差点』。4/19,20 は淡路の明石海峡公園での『本日、あわじしまにて。』。両イベントとも、県ご購入の割箸を多数の来場者様に配布していただき、ご利用いただきました。

4/20 キッチンカーに提供された割箸

『本日、あわじしまにて』会場のようす

ご使用後は回収して持ち帰り、チッパー⇒ペレタイザーに投入、木質ペレットに生まれ変わらせるという試みに挑戦することになりました。

チッパーに投入された使用済み割箸

ふるさと納税寄付者様よりあたたかいお言葉

また、ふるさと納税で丹波篠山市へご寄付いただいた 10 名を超える方々から、返礼品としてこの間伐材割り箸をお選びいただき送らせていただきました。その中の一寄付者様より次のようなあたたかいお言葉をいただきました。

「本当に素朴な返礼品、間伐材ってこんなふうに利用すれば良いのですね。日本にはこうした、香りの楽しみがあるのですね。また、手触りも優しい。どうかこれからも、山を森を木を大切に育てて下さい。お仕事はきっと大変かと思いますが、がんばって下さい。」

大阪の子どもたちが間伐体験にやって来た！

大阪市の「まなびや CAMP」石ヶ辻校と今福鶴見校に集う小学 1～5 年生の 22 名が 3 月、引率の先生 5 名とともに丹波篠山市古市の森までやって来ました。

まず、ヒノキの人工林の前の広場に集合。「かんばつってなーに？」の紙芝居を見てもらいました。暗くて下草も生えない過密な森は木も細くなり山崩れも起きやすいことを説明したあと、ニンジン栽培の間引きを例にとって間伐を理解してもらいました。香り、見た目、材の強さなどヒノキ材の優れた点も説明しました。

ちょっと早めの昼食には、バイオマス丹波篠山からイノシシ肉入り「田舎汁」をご提供。丹波篠山の食も味わってもらいました。

午後は実際にヒノキ林へ。まず下草がほとんどなく暗いヒノキ林の状態を観察、そして木を伐る前に、木に触れ目を閉じて 1 分間、木の感触を肌を通して感じ取ってもらいました。

次に 3 班に分かれて、実際に切ってもらう 3 本のヒノキのまわりに移動。指導者に切り方を教わりながら、のこぎりで班員全員が順番に少しずつ伐り進めてもらいました。最後に、あらかじめかけて置いたロープを全員で引っ張って倒してもらいました。倒した木は短く丸太切りし、めいめい持てる分を持ち帰ってもらいました。終了後は、但馬の宿泊施設へ向かわれました。

夜は宿舎で木工体験

宿舎では夕食後、間伐材から作られた組手什（くでじゅう）で木工体験。組手什は等間隔に切り欠きのある板材で、縦横交互にはめ込むことで木工品を作ることができます。今回は必要な長さの組手什を必要本数セットでご用意し、ゴムハンマーを使っての組立作業を体験してもらいました。こちらが想定していた作品をその通り正確に作り上げた生徒さんもいる一方、グループで予想もしない大きな作品を作り上げる生徒さんも。楽しく考えながら組立作業ができたようです。

木の駅 東部集材所 細工所に新設

丹波篠山市細工所 225(ハートピアセンターより南東方向約 200m)に、丹波篠山木の駅実行委員会東部集材所を新設しました。垣屋の集材所は距離的に遠いという声にお応えできました。東部方面の木の駅登録者様にはぜひこちらへ材の搬入をよろしくお願いいたします。

木の駅登録者様には、元気な丹波篠山の森を守るため、間伐や里山整備に力を入れてもらっていますが、残念ながら昨年度の出材料は針葉樹 14.7 トン、広葉樹 7.4 トンと、まだまだ少ない状況です。

本号の記事にもある通り、組手什は全国へ、間伐材割箸は兵庫県下一円にと版図を広げていますし、薪やペレットのストーブ利用者も増えており、木材の需要は高まっています。

集材所新設で本年度は出材料増加に転じればと期待しています。木の駅登録者の皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

丹波篠山産材を活用してご提供しています

薪,ペレット,組手什(クデジュー),割箸をぜひどうぞ！

丹波篠山の里山整備で出た広葉樹の**薪**です。薪ストーブはもちろん、キャンプファイヤーや焚火、石窯などにも。1 束 660 円で販売中。

丹波篠山の間伐や里山整備で出た材を使った**ペレット**です。ペレットストーブ、ペレットボイラーはもちろん、ピザ窯、パン窯や猫砂にも。20kg 袋 1320 円にて販売中。

本号第一面にもある通り、丹波篠山の間伐材を利用した**組手什**。2 m の板材 1 本 880 円。好みの棚用に必要な長さ・本数をセットにして組み立てるだけのキットも発売中。

本号第二面でも紹介した丹波篠山間伐材**割箸**。オリジナル「森の贈り物」箸袋入りのほか丹波篠山国際博記念万国旗箸袋入りも 15 膳セット 600 円で販売中。

価格は全て税込です

「丹波篠山市ふるさとの森づくり構想」改定

「丹波篠山市ふるさとの森づくり構想」が策定後 10 年となる本年度、改定になりました。その第５章の１の④林業事業者（素材生産事業者、自伐型林業、者等、建築業者、NPO、機構等）の役割には次の２項があります。

・暮らしの中に、地域産木材、特に丹波篠山産木材が取り入れられるよう、木材を用いた住宅や製品を生産・開発に取り組み、その利用を提案します。

・木質資源を利用した設備（薪ストーブ、ペレットストーブなど）が取り入れられるよう市民に提案するとともに、燃料等の供給に努めます。